

令和5年度政策評価・施策評価基本票の 要 旨

令和5年6月
宮 城 県

目 次

ページ

1 政策評価・施策評価について	1
(1) 政策評価・施策評価を行う目的	1
(2) 「新・宮城の将来ビジョン」の体系と政策評価・施策評価との関係	1
(3) 政策評価・施策評価の対象及び方法等	2
(4) 政策評価・施策評価の流れ	2
2 政策評価・施策評価の評価状況について	4
(1) 政策評価の状況	4
(2) 施策評価の状況	5
参考資料 政策評価・施策評価 評価状況一覧表〔評価原案〕	6

令和5年度政策評価・施策評価基本票の要旨

～令和4年度の政策、施策及び事業について～

県では、平成14年度から行政活動の評価に関する条例（平成13年宮城県条例第70号。以下「条例」という。）に基づいて政策評価・施策評価を実施しています。この書面は、条例第5条第2項に基づき、県が令和4年度の政策、施策及び事業の成果等を対象に、令和5年度に実施した政策評価・施策評価に係る基本票（県の自己評価原案）の内容を県民の皆さまにわかりやすく説明するために作成したものです。

1 政策評価・施策評価について

(1) 政策評価・施策評価を行う目的

①政策決定に必要な情報を提供します

県は、政策、施策及び事業の効果を把握しながら、“宮城の将来像として望ましい社会”を実現するという目標に照らして客観的な評価を行うことで、政策判断に必要な情報を提供します。

②効果的・効率的で質の高い行政を行います

県は、政策、施策及び事業に対する評価の結果をもとに、課題を検証し、今後の政策・施策の展開のあり方を検討して改善を図るなど、行政運営に適切に反映することにより効果的・効率的で質の高い行政を行います。

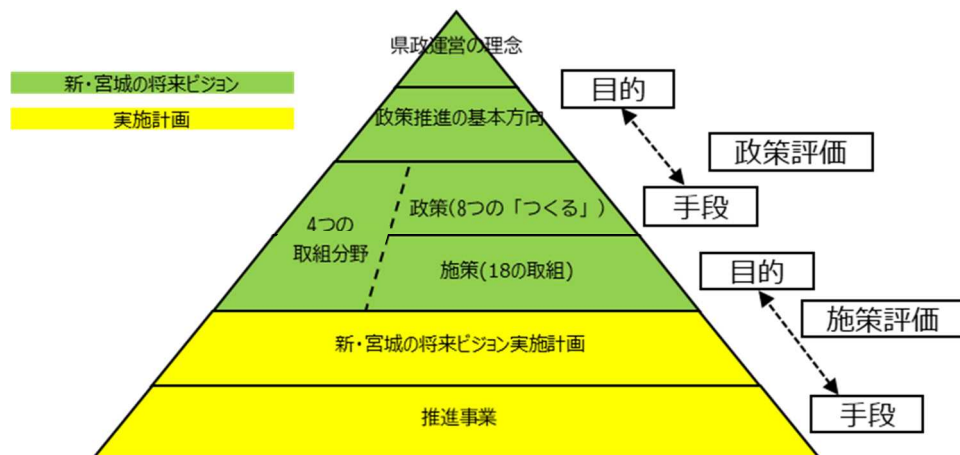
③県民への説明責任を果たし透明性を向上させます

県は、政策、施策及び事業の評価に関する様々な情報を随時公表し、県民の皆さまに対する説明責任を果たしながら、行政の透明性の向上を図ります。

(2) 「新・宮城の将来ビジョン」の体系と政策評価・施策評価との関係

県では、令和2年12月、これまでの「宮城の将来ビジョン」、「宮城県震災復興計画」及び「宮城県地方創生総合戦略」に掲げる理念を継承し、一つの計画に統合するとともに、今後見込まれる社会の変化等を踏まえながら、将来の宮城のあるべき姿や目標を県民の皆さんと共有し、その実現に向けて取り組むべき施策を明らかにするため、「新・宮城の将来ビジョン」を策定し、4つの政策推進の基本方向に沿った「持続可能な未来」のための8つの「つくる」と、18の取組を推進することとしました。

なお、政策評価・施策評価においては、それぞれの体系における「つくる」を「政策」、「取組」を「施策」として整理し、推進事業と併せて評価を行っています。



(3) 政策評価・施策評価の対象及び方法等

政策評価・施策評価は、政策、施策及び事業について、それらの全体の体系や相互の関係（各々の目的-手段の関係）を踏まえて包括的に評価を行うものであることから、政策評価と施策評価は一連のものとして行います。

政策評価は、政策を構成する各施策の成果の状況や課題等を総括し、大きな視点から県政の状況を把握するものです。

施策評価は、施策に設定された目標指標（長期的な目標を定量的又は定性的に示す方法により設定した指標）の達成状況や施策を構成する各事業の状況などから、前年度の県の施策の成果を評価し、その課題を検証して次年度の対応方針を示すものです。また、事業の有効性等について分析し、事業の質の向上を図ります。

令和5年度政策評価・施策評価では、新・宮城の将来ビジョンをもとに、令和4年度に実施した政策、施策及び事業について評価を行いました。

①評価対象、評価項目及び評価基準

	政策評価	施策評価
評価対象	「新・宮城の将来ビジョン」で定めた政策及び施策	「新・宮城の将来ビジョン」で定めた施策及び推進事業
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ○政策を構成する施策の成果及び評価 ○政策課題と対応方針 ○県民意識 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標指標 ○県民意識 ○社会経済情勢 ○事業実績 ○施策を推進する上での課題と対応方針

②政策評価・施策評価の実施方法

県の各担当部局が、それぞれ担当する政策、施策及び事業について評価します。

その際には、評価の客観性を確保するため、有識者で構成する宮城県行政評価委員会の意見を聴き、評価に反映します。また、広く県民からも意見を聴き、評価に反映する仕組みとなっています。

(4) 政策評価・施策評価の流れ

①政策評価・施策評価基本票（県の評価原案）の作成 【フロー図1、2】

県は、政策評価シート、施策評価シート等からなる基本票を作成して、政策・施策を自ら評価します。

②宮城県行政評価委員会などからの意見聴取 【フロー図3～7】

上記①の県による評価の客観性を確保し、評価過程の透明性を高めるため、自ら評価した内容について、県民意見聴取を行うほか、宮城県行政評価委員会の意見を聴き、その意見を評価結果に適切に反映させることとしています。

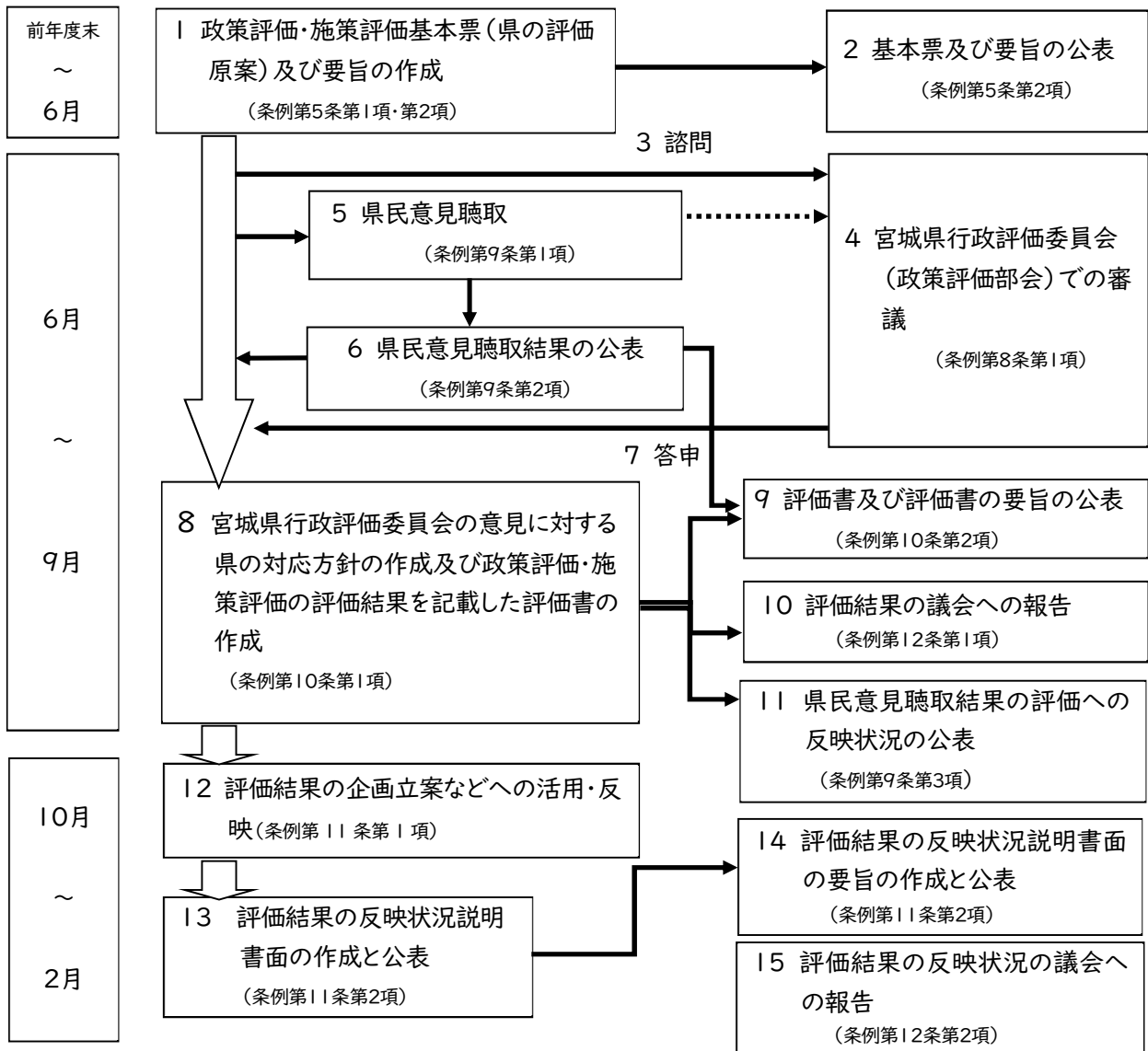
③県の対応方針と評価書の作成 【フロー図8～11】

その後、上記委員会の意見に対する県の対応方針と、それを踏まえた最終的な評価結果を記載した「評価書」を作成して公表するとともに、県議会に報告することとしています。

④反映状況を説明する書面の作成 【フロー図12～15】

評価結果は、翌年度の政策、施策及び事業に関する企画立案や予算編成並びに組織運営方針を決定する際の情報として活用し、適切に反映させることとしています。反映状況を説明する書面は公表するとともに、県議会に報告することとしています。

《 フロー図 》



2 政策評価・施策評価の評価状況について

(1) 政策評価の状況

政策評価では、新・宮城の将来ビジョンで定めた政策と政策を構成する施策について、政策評価シート(評価原案)を作成しました。

政策評価シートでは、政策を構成する施策の成果、政策課題と対応方針、県民意識等を総括し、政策の成果を評価しました。

【政策評価「政策の成果」に係る評価の区分】

順調：政策を構成する施策の必要性、有効性、効率性を考慮し、施策の成果等から見て、政策の成果が十分にあり、進捗状況が順調であると判断されるもの。

概ね順調：政策を構成する施策の必要性、有効性、効率性を考慮し、施策の成果等から見て、政策の成果がある程度あり、進捗状況が概ね順調であると判断されるもの。

やや遅れている：政策を構成する施策の必要性、有効性、効率性を考慮し、施策の成果等から見て、政策の成果があまりなく、進捗状況がやや遅れていると判断されるもの。

遅れている：政策を構成する施策の必要性、有効性、効率性を考慮し、施策の成果等から見て、政策の成果がなく、進捗状況が遅れていると判断されるもの。

評価の状況は次のとおりです。

「概ね順調」と評価した政策は5政策、「やや遅れている」と評価した政策は3政策となり、「順調」、「遅れている」と評価した政策はありませんでした。

政策評価(原案) (政策の成果)	順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている	計
政策数	0	5	3	0	8
政策推進の基本方向別内訳					
富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進	0	1	1	0	2
社会全体で支える宮城の子ども・子育て	0	0	2	0	2
誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり	0	2	0	0	2
強靱で自然と調和した県土づくり	0	2	0	0	2
参考 令和4年度評価結果	0	6	2	0	8

なお、各政策評価の状況は、参考資料(後掲)の「政策評価・施策評価 評価状況一覧表[評価原案]」(6ページから9ページ)中、「評価原案 政策の成果」の欄を御覧ください。

(2) 施策評価の状況

施策評価では、新・宮城の将来ビジョンで定めた施策と施策を構成する事業について、施策評価シート(評価原案)を作成しました。

施策評価シートでは、目標指標の達成状況、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果、施策を推進する上での課題と対応方針等を総括し、施策の成果を評価しました。

【施策評価「施策の成果」に係る評価の区分】	
順調	施策を構成する事業の必要性、有効性、効率性を考慮し、目標指標等の達成状況、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策の成果が十分にあり、進捗状況が順調であると判断されるもの。
概ね順調	施策を構成する事業の必要性、有効性、効率性を考慮し、目標指標等の達成状況、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策の成果がある程度あり、進捗状況が概ね順調であると判断されるもの。
やや遅れている	施策を構成する事業の必要性、有効性、効率性を考慮し、目標指標等の達成状況、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策の成果があまりなく、進捗状況がやや遅れていると判断されるもの。
遅れている	施策を構成する事業の必要性、有効性、効率性を考慮し、目標指標等の達成状況、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策の成果がなく、進捗状況が遅れていると判断されるもの。

評価の状況は、次のとおりです。

「順調」と評価した施策は1施策、「概ね順調」と評価した施策は9施策、「やや遅れている」と評価した施策は8施策で、「遅れている」と評価した施策はありませんでした。

施策評価(原案) (施策の成果)	順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている	計
施策数	1	9	8	0	18
政策推進の基本方向別内訳					
富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進	0	2	3	0	5
社会全体で支える宮城の子ども・子育て	0	1	3	0	4
誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり	0	3	2	0	5
強靱で自然と調和した県土づくり	1	3	0	0	4
参考 令和4年度評価結果	0	13	5	0	18

なお、各施策評価の状況は、資料(後掲)の「政策評価・施策評価 評価状況一覧表[評価原案]」(6ページから9ページ)中、「評価原案 施策の成果」の欄を御覧ください。

政策番号	政策名	評価原案 政策の成果	施策番号	施策名	評価原案 施策の成果	〔参 考〕						
						目標指標名	目 標 指 標 の 種 類	達成率	達成度			
政策推進の基本方向 1 富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進												
1	全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる	やや遅れている	1	産学官連携によるものづくり産業等の発展と研究開発拠点等の集積による新技術・新産業の創出	概ね順調	企業立地件数(件)【累計】	進捗割合型 I	41.5%	B			
						企業集積等による雇用機会の創出数(人)【累計】	進捗割合型 I	76.6%	A			
						産学官連携数(件)	進捗割合型 I	75.0%	A			
						知的財産の支援(知的財産関連契約)件数(件)【累計】	進捗割合型 I	62.9%	A			
						製造品出荷額等(食料品製造業を除く)(億円)	進捗割合型 I	-266.0%	D			
						県が海外進出や販路開拓支援を実施した企業数(者)【累計】	進捗割合型 I	48.9%	B			
			2	宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興	やや遅れている	3	地域の底力となる農林水産業の国内外への展開	やや遅れている	観光客入込数(万人)	進捗割合型 I	-1,127.9%	D
									外国人延べ宿泊者数(万人泊)	現状維持型 I	7.2%	D
									観光消費額(億円)	進捗割合型 I	-136,500.0%	D
									宿泊観光客数(万人泊)	進捗割合型 I	-40,500.0%	D
			サービス業の付加価値額(億円)	進捗割合型 I	-88.3%	D						
			4	時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備	概ね順調	5	時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用	概ね順調	農業産出額(億円)	進捗割合型 I	-104.0%	D
									園芸産出額(億円)	進捗割合型 I	-6.7%	D
									漁業産出額(億円)	現状維持型 I	83.0%	B
									水産加工品出荷額(億円)	進捗割合型 I	-116.3%	D
									林業産出額(億円)	進捗割合型 I	47.8%	B
									木材・木製品出荷額(億円)	進捗割合型 I	-121.9%	D
									製造品出荷額等(食料品製造業)(億円)	進捗割合型 I	43.2%	B
									付加価値額(食料品製造業)(億円)	進捗割合型 I	-3.6%	D
国際水準GAP導入・認証総数(農業)(件数)【累計】	進捗割合型 I	-3.7%							D			
2	産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる	概ね順調							4	時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備	やや遅れている	就業率(%)
			高校生の県内製造業就職率(%)	進捗割合型 I	125.0%	A						
			第一次産業における新規就業者数(農業)(人)	進捗割合型 I	-2450.0%	D						
			第一次産業における新規就業者数(水産業)(人)	進捗割合型 I	-212.5%	D						
			第一次産業における新規就業者数(林業)(人)	進捗割合型 I	-15.0%	D						
			所定外労働時間数(時間)	進捗割合型 II	33.3%	C						
			年次有給休暇の取得日数(日)	進捗割合型 I	93.8%	A						
			キャリアアップに向けた人材育成等を目的としたプログラム推進件数(件)	進捗割合型 I	0.0%	D						
			開業率(%)	進捗割合型 I	-25.0%	D						
			認定農業者数(経営体)	進捗割合型 I	-1,766.7%	D						
			スマートインターチェンジ等の設置数(箇所)【累計】	進捗割合型 I	100.0%	A						
			仙台塩釜港(仙台区)におけるコンテナ貨物の取扱量(実入)(万TEU)	現状維持型 I	87.8%	B						
			仙台塩釜港(仙台区)の取扱貨物量(コンテナ貨物を除く)(万トン)	現状維持型 I	89.2%	B						
仙台空港乗降客数(万人)	現状維持型 I	75.1%	C									
仙台空港国際線乗降客数(万人)	現状維持型 I	4.0%	D									
東北6県及び新潟県の延べ宿泊者数(万人泊)	現状維持型 I	90.7%	B									

○目標指標は、新・宮城の将来ビジョン実施計画において設定され、計画期間ごとに目標値が定められている。なお、以下の4つに分類される。
 【進捗割合型 I (初期値 < 目標値で、実績値が高い程好ましい指標)、進捗割合型 II (初期値 > 目標値で、実績値が低い程好ましい指標)、
 現状維持型 I (初期値 = 目標値又は、初期値 > 目標値で、実績値が高い程好ましい指標)、現状維持型 II (初期値 = 目標値で、実績値が低い程好ましい指標)】

○達成率は、初期値から実施計画前期の最終年度(令和6年度)で定める目標値までの進捗割合を示している。なお、計算式は以下のとおり。
 【進捗割合型 I ((実績値 - 初期値) / (目標値 - 初期値)) × 100、進捗割合型 II ((初期値 - 実績値) / (初期値 - 目標値)) × 100、
 現状維持型 I (1 + (実績値 - 目標値) / 目標値) × 100、現状維持型 II (1 - (実績値 - 目標値) / 目標値) × 100】

○達成度は、達成率を4段階(AからD)に分けて評価したものである。なお、目標指標の種類によって、各評価年度に達成すべき達成率が異なる。
 (令和5年度における達成度ごとの達成率の区分)
 【進捗割合型 I・II】 A: 達成率50%以上 B: 達成率40%以上~50%未満 C: 達成率30%以上~40%未満 D: 達成率30%未満
 【現状維持型 I・II】 A: 達成率100%以上 B: 達成率80%以上~100%未満 C: 達成率60%以上~80%未満 D: 達成率60%未満

政策番号	政策名	評価原案 政策の成果	施策番号	施策名	評価原案 施策の成果	【参 考】			
						目標指標名	目標指標の種類	達成率	達成度
政策推進の基本方向2 社会全体で支える宮城の子ども・子育て									
3	子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる	やや遅れている	6	結婚・出産・子育てを応援する環境の整備	やや遅れている	みやぎ結婚支援センター登録者数(人)	進捗割合型 I	278.6%	A
						育児休業取得率(男性)(%)	進捗割合型 I	261.3%	A
						育児休業取得率(女性)(%)	進捗割合型 I	101.1%	A
						「みやぎっこ応援の店」登録店舗数(店)【累計】	進捗割合型 I	42.0%	B
						認定こども園の設置数(箇所)	進捗割合型 I	141.1%	A
						保育所等利用待機児童数(人)	進捗割合型 II	77.9%	A
			7	家庭・地域・学校の連携・協働による子どもを支える体制の構築	概ね順調	県内における子ども食堂の数(箇所)【累計】	進捗割合型 I	62.7%	A
						里親委託率(%)	進捗割合型 I	22.5%	D
						朝食を毎日食べる児童の割合(小学6年生)(%)	進捗割合型 I	-460.0%	D
						市町村における子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーの活動者数(人)	現状維持型 I	134.7%	A
						「家庭教育支援チーム」の活動件数(件)	進捗割合型 I	859.1%	A
						地域学校協働本部がカバーする学校の割合(公立小・中学校)(仙台市を除く)(%)	進捗割合型 I	83.4%	A
4	社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる	やや遅れている	8	多様で変化する社会に適応し、活躍できる力の育成	やや遅れている	保幼小接続のための「スタートカリキュラム」を作成している市町村立小学校の割合(仙台市を除く)(%)	進捗割合型 I	10.5%	D
						「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合(小学5年生)(%)	進捗割合型 I	-207.1%	D
						「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合(中学1年生)(%)	進捗割合型 I	-176.5%	D
						「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童生徒の割合(小学6年生)(%)	現状維持型 I	99.4%	B
						「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童生徒の割合(中学3年生)(%)	進捗割合型 I	700.0%	A
						インターンシップやアカデミックインターンシップ等に取り組んでいる県立高等学校の割合(%)	進捗割合型 I	-461.6%	D
						新規高卒者の就職決定率の全国平均値とのかい離(ポイント)	現状維持型 I	130.0%	A
						児童生徒の家庭等での学習時間(小学6年生:30分以上の児童の割合)(%)	進捗割合型 I	-750.0%	D
						児童生徒の家庭等での学習時間(中学3年生:1時間以上の生徒の割合)(%)	進捗割合型 I	34.5%	C
						児童生徒の家庭等での学習時間(高校2年生:2時間以上の生徒の割合)(%)	進捗割合型 I	-612.5%	D
						「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う」と答えた児童生徒の割合(小学6年生)(%)	進捗割合型 I	126.3%	A
						「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う」と答えた児童生徒の割合(中学3年生)(%)	進捗割合型 I	173.7%	A
						全国平均正答率とのかい離(小学6年生)(ポイント)	進捗割合型 I	-50.0%	D
						全国平均正答率とのかい離(中学3年生)(ポイント)	進捗割合型 I	0.0%	D
						大学等への現役進学達成率の全国平均値とのかい離(ポイント)	進捗割合型 I	69.2%	A
						児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(小学5年生)(男)(ポイント)	進捗割合型 I	-104.3%	D
						児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(小学5年生)(女)(ポイント)	進捗割合型 I	-37.2%	D
						児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(中学2年生)(男)(ポイント)	進捗割合型 I	50.0%	A
			児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(中学2年生)(女)(ポイント)	進捗割合型 I	-18.0%	D			
			9	安心して学び続けることができる教育体制の整備	やや遅れている	保護者等に対して学校公開を実施している学校(小・中)の割合(小学校)(%)	進捗割合型 I	-109.7%	D
						保護者等に対して学校公開を実施している学校(小・中)の割合(中学校)(%)	進捗割合型 I	-86.4%	D
						学校関係者評価を広く公表している県立高等学校の割合(%)	進捗割合型 I	-73.2%	D
						特別支援学校の児童生徒が居住地の小・中学校の児童生徒と交流及び共同学習した割合(%)	進捗割合型 I	79.9%	A
						「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合(小学5年生)(%)	進捗割合型 I	-36.0%	D
「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合(中学1年生)(%)	進捗割合型 I	126.9%				A			
不登校児童生徒のうち学習支援を受けている児童生徒の割合(小学生)(%)	進捗割合型 I	100.9%	A						
不登校児童生徒のうち学習支援を受けている児童生徒の割合(中学生)(%)	進捗割合型 I	66.4%	A						
授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合(%)	進捗割合型 I	60.0%	A						

○目標指標は、新・宮城の将来ビジョン実施計画において設定され、計画期間ごとに目標値が定められている。なお、以下の4つに分類される。
【進捗割合型 I (初期値 < 目標値で、実績値が高い程好ましい指標)、進捗割合型 II (初期値 > 目標値で、実績値が低い程好ましい指標)、
現状維持型 I (初期値 = 目標値又は、初期値 > 目標値で、実績値が高い程好ましい指標)、現状維持型 II (初期値 = 目標値で、実績値が低い程好ましい指標)】

○達成率は、初期値から実施計画前期の最終年度(令和6年度)で定める目標値までの進捗割合を示している。なお、計算式は以下のとおり。
【進捗割合型 I ((実績値 - 初期値) / (目標値 - 初期値)) × 100、進捗割合型 II ((初期値 - 実績値) / (初期値 - 目標値)) × 100、
現状維持型 I (1 + (実績値 - 目標値) / 目標値) × 100、現状維持型 II (1 - (実績値 - 目標値) / 目標値) × 100】

○達成度は、達成率を4段階(AからD)に分けて評価したものである。なお、目標指標の種類によって、各評価年度に達成すべき達成率が異なる。
(令和5年度における達成度ごとの区分)

【進捗割合型 I・II】 A: 達成率50%以上 B: 達成率40%以上~50%未満 C: 達成率30%以上~40%未満 D: 達成率30%未満
【現状維持型 I・II】 A: 達成率100%以上 B: 達成率80%以上~100%未満 C: 達成率60%以上~80%未満 D: 達成率60%未満

政策番号	政策名	評価原案 政策の成果	施策番号	施策名	評価原案 施策の成果	【参 考】						
						目標指標名	目標指標 の種類	達成率	達成度			
政策推進の基本方向3 誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり												
5	一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる	概ね順調	10	就労や地域活動を通じた多様な主体の社会参画の促進	概ね順調	雇用支援拠点における支援者の就職件数(人)【累計】	進捗割合型 I	30.9%	C			
						高齢者雇用率(%)	進捗割合型 I	17.9%	D			
						障害者雇用率(%)	進捗割合型 I	52.6%	A			
						女性のチカラを活かすゴールド認証企業数(社)	進捗割合型 I	41.7%	B			
						地方創生推進交付金の活用事業数(市町村分)(事業)【累計】	進捗割合型 I	47.1%	B			
						「みやぎ移住サポートセンター」を通じたUIターン移住者数(人)【累計】	進捗割合型 I	72.4%	A			
						都市と農村の交流活動事業に参加した人数(人)	進捗割合型 I	423.1%	A			
						多言語による生活情報の提供実施市町村数(市町村)【累計】	進捗割合型 I	87.5%	A			
			11	文化芸術・スポーツ活動と生涯学習の振興	やや遅れている	みやぎ県民文化創造の祭典参加者の意識の変化(文化芸術が身近な所で様々な分野に活用され地域の活性化に役立っていると思う人の割合)(%)	進捗割合型 I	140.9%	A			
						みやぎ県民文化創造の祭典参加者の意識の変化(不安を抱える方々の心のケアのために文化芸術の果たす役割が大切だと思う人の割合)(%)	進捗割合型 I	116.3%	A			
						総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率(%)	進捗割合型 I	0.0%	D			
						生涯学習プラットフォーム閲覧数(セッション数)(件)	進捗割合型 I	29.3%	D			
						市町村社会教育講座の参加者数(人口千人当たり)(人)	進捗割合型 I	-3,508.3%	D			
6	健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる	概ね順調	12	生涯を通じた健康づくりと持続可能な医療・介護サービスの提供	やや遅れている	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合(%)	進捗割合型 II	-113.3%	D			
						12歳児のむし歯のない人の割合(%)	進捗割合型 I	66.0%	A			
						自殺死亡率(人口10万対)	進捗割合型 II	4.5%	D			
						県の施策による自治体病院等(県立病院を除く)への医師配置数(人)	進捗割合型 I	-13.8%	D			
						新規看護職員充足率(%)	進捗割合型 I	3.1%	D			
						特別養護老人ホーム入所定員数(人)【累計】	進捗割合型 I	32.9%	C			
						チームオレンジの立ち上げ市町村数(か所)【累計】	進捗割合型 I	7.7%	D			
						介護職員数(人)【累計】	進捗割合型 I	8.7%	D			
						13	障害の有無に関わらず安心して暮らせる社会の実現	概ね順調	低床バス導入率(%)	進捗割合型 I	60.0%	A
									グループホーム利用者数(人)	進捗割合型 I	70.0%	A
									入院中の精神障害者の地域生活への移行(入院後3ヶ月時点の退院率)(%)	進捗割合型 I	-7.0%	D
									入院中の精神障害者の地域生活への移行(精神病床における入院後1年時点の退院率)(%)	進捗割合型 I	20.0%	D
		入院中の精神障害者の地域生活への移行(入院期間1年以上の長期在院者数)(人)	進捗割合型 II	79.4%	A							
		就労継続支援B型事業所等における工賃の平均月額(円)	進捗割合型 I	10.1%	D							
		14	暮らし続けられる安全安心な地域の形成	概ね順調	1人当たり年間公共交通機関利用回数(回)	現状維持型 I	84.9%	B				
					商店街の活性化状況(営業継続率)(%)	現状維持型 I	104.2%	A				
					刑法犯認知件数(件)	現状維持型 II	102.9%	A				
					交通事故死者数(人)	現状維持型 II	115.9%	A				

○目標指標は、新・宮城の将来ビジョン実施計画において設定され、計画期間ごとに目標値が定められている。なお、以下の4つに分類される。
【進捗割合型 I (初期値 < 目標値で、実績値が高い程好ましい指標)、進捗割合型 II (初期値 > 目標値で、実績値が低い程好ましい指標)、
現状維持型 I (初期値 = 目標値又は、初期値 > 目標値で、実績値が高い程好ましい指標)、現状維持型 II (初期値 = 目標値で、実績値が低い程好ましい指標)】

○達成率は、初期値から実施計画前期の最終年度(令和6年度)で定める目標値までの進捗割合を示している。なお、計算式は以下のとおり。
【進捗割合型 I ((実績値 - 初期値) / (目標値 - 初期値)) × 100、進捗割合型 II ((初期値 - 実績値) / (初期値 - 目標値)) × 100、
現状維持型 I (1 + (実績値 - 目標値) / 目標値) × 100、現状維持型 II (1 - (実績値 - 目標値) / 目標値) × 100】

○達成度は、達成率を4段階(AからD)に分けて評価したものである。なお、目標指標の種類によって、各評価年度に達成すべき達成率が異なる。
(令和5年度における達成度ごとの達成率の区分)

【進捗割合型 I・II】 A: 達成率50%以上 B: 達成率40%以上~50%未満 C: 達成率30%以上~40%未満 D: 達成率30%未満
【現状維持型 I・II】 A: 達成率100%以上 B: 達成率80%以上~100%未満 C: 達成率60%以上~80%未満 D: 達成率60%未満

政策番号	政策名	評価原案 政策の成果	施策番号	施策名	評価原案 施策の成果	【参 考】			
						目標指標名	目標指標 の種 類	達成率	達成度
政策推進の基本方向4 強靱で自然と調和した県土づくり									
7	自然と人間が共存共栄する社会をつくる	概ね順調	15	環境負荷の少ない地域経済システム・生活スタイルの確立	概ね順調	環境に配慮されたマークのある商品を選ぶことを意識する人の割合(%)	進捗割合型 I	-95.7%	D
						森林整備面積(ha/年)	進捗割合型 I	-17.1%	D
						再生可能エネルギー等の導入量(熱量換算)(TJ)	進捗割合型 I	42.1%	B
						一般廃棄物リサイクル率(%)	進捗割合型 I	-54.5%	D
						産業廃棄物リサイクル率(%)	現状維持型 I	105.4%	A
						県民一人一日当たりの一般廃棄物排出量(g/人・日)	進捗割合型 II	16.7%	D
						産業廃棄物排出量(千t)	進捗割合型 II	98.5%	A
			16	豊かな自然と共生・調和する社会の構築	概ね順調	豊かな生態系(植生自然度と河川生物生息状況)(点)	進捗割合型 I	-100.0%	D
						森林認証取得面積(ha)【累計】	進捗割合型 I	0.1%	D
						野生鳥獣の捕獲数(イノシシ)(頭)	進捗割合型 I	-118.1%	D
						野生鳥獣の捕獲数(ニホンジカ)(頭)	進捗割合型 I	168.1%	A
						農村環境保全等の協働活動に参加した人数(人)【累計】	進捗割合型 I	52.2%	A
						日本型直接支払制度取組面積(ha)	現状維持型 I	102.8%	A
						みやぎ海岸林再生みんなの森づくり活動参加者数(人)	進捗割合型 I	175.6%	A
8	世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる	概ね順調	17	大規模化・多様化する災害への対策の強化	概ね順調	女性防災リーダー養成者数(宮城県防災指導員(登録辞退者を除く)(人)【累計】)	進捗割合型 I	100.0%	A
						自主防災組織の組織率(%)	進捗割合型 I	2.6%	D
						地域住民と連携した避難訓練を実施している学校の割合(%)	進捗割合型 I	-24.3%	D
						緊急輸送道路の橋梁耐震化率(%)【累計】	進捗割合型 I	57.1%	A
						河川整備率(%)	進捗割合型 I	53.8%	A
						土砂災害警戒区域等におけるハード対策実施箇所数(箇所)【累計】	進捗割合型 I	50.0%	A
						土砂災害警戒区域等におけるソフト対策実施箇所数(箇所)【累計】	進捗割合型 I	4.0%	D
			18	生活を支える社会資本の整備、維持・管理体制の充実	順調	橋梁の長寿命化対策率(%)【累計】	進捗割合型 I	58.5%	A
						港湾施設の長寿命化対策率(%)【累計】	進捗割合型 I	49.8%	B
						アドプトプログラム認定団体数(団体)【累計】	進捗割合型 I	169.8%	A

○目標指標は、新・宮城の将来ビジョン実施計画において設定され、計画期間ごとに目標値が定められている。なお、以下の4つに分類される。
【進捗割合型 I (初期値 < 目標値で、実績値が高い程好ましい指標)、進捗割合型 II (初期値 > 目標値で、実績値が低い程好ましい指標)、
現状維持型 I (初期値 = 目標値又は、初期値 > 目標値で、実績値が高い程好ましい指標)、現状維持型 II (初期値 = 目標値で、実績値が低い程好ましい指標)】

○達成率は、初期値から実施計画前期の最終年度(令和6年度)で定める目標値までの進捗割合を示している。なお、計算式は以下のとおり。
【進捗割合型 I ((実績値 - 初期値) / (目標値 - 初期値)) × 100、進捗割合型 II ((初期値 - 実績値) / (初期値 - 目標値)) × 100、
現状維持型 I (1 + (実績値 - 目標値) / 目標値) × 100、現状維持型 II (1 - (実績値 - 目標値) / 目標値) × 100】

○達成度は、達成率を4段階(AからD)に分けて評価したものである。なお、目標指標の種類によって、各評価年度に達成すべき達成率が異なる。
(令和5年度における達成度ごとの達成率の区分)
【進捗割合型 I・II】 A: 達成率50%以上 B: 達成率40%以上~50%未満 C: 達成率30%以上~40%未満 D: 達成率30%未満
【現状維持型 I・II】 A: 達成率100%以上 B: 達成率80%以上~100%未満 C: 達成率60%以上~80%未満 D: 達成率60%未満